

元サラリーマン技術誌編集者のレポート  
(Report from ex-editor of company's  
technological journal)

——正確で根拠ある情報をめざして——

英ドキュメンタリー映画「地球温暖化詐欺」

——CO<sub>2</sub>人為説を否定する科学者達の

証言—— および 宇宙線雲形成促進

説と太陽活動をめぐる動き

The Great Global Warming Swindle  
--Scientists against Man-made  
Warming Theories— and Trends around  
the Cloud Formation Theories by Cosmic  
Ray and the Effects of Solar Activities

2016年12月 日

[スマホ向け編集 後半 1/2 : 英映画]

英ドキュメンタリー映画

「地球温暖化詐欺」

—DVD 最終版脚本より—

The Great Global Warming Swindle  
--Final Script DVD Version--

2007 年

Written & Directed by  
MARTIN DURKIN

Wag TV

( 翻訳 : 増尾誠)

# 「地球温暖化詐欺」に登場する主な科学者たち



ティム・ボール教授 ウイニペック  
大学 気候学



ニール・シャヴィブ教授 エルサレ  
ム大学 物理学



ブレイビーのローソン卿 元財務  
大臣 (2005 年上院調査委員会の中心  
メンバー)



イアン・クラーク教授 オタワ大学  
地球科学



ピアース・コービン博士 太陽物理

# 学者 ウエザー・アクションの気象予報士



ジョン・クリスティ教授 アラバマ  
大学 大気科学 IPCC の主執筆者



フィリップ・ストット教授 ロンド  
ン大学 生物地理学



ポール・ライター教授 パリのパス  
ター研究所 IPCC



リチャード・リンゼン教授 マサチ  
ューセツツ工科大学 気候学 IPCC



パトリック・ムーア グリンピー  
ス共同設立者



パトリック・マイケルズ教授 バージニア大学 環境科学



ロイ・スペンサー博士 NASA 気象衛星チームリーダー



ナイジェル・コールダー ニューサイエンティスト誌の元 編集長



ジェームス・シックワティ エコノミスト、作家



赤祖父俊一教授 アラスカの国際北極研究所 (IARC) 所長



フレデリック・シンガー教授 US  
ナショナル・ウェザー・サービスの  
元所長



フリス・クリステンセン教授 デン  
マーク国立宇宙センター所長



ポール・ドリーズン 作家 元環  
境活動家

# 目 次

## プロローグ

## あらすじ

1. 英国上院の人為説の科学的根拠の調査委員会の設置
2. 中世の気候変動は現代より大きかった
3. 近年の気温変動は工業発展(CO<sub>2</sub> 増)の傾向と一致しない
4. 温室効果ガスの主役は水蒸気
5. 温室効果ガスによる温暖化を気候モデルでシミュレーション
6. 気候モデルは大気温度測定値と合わず、温室効果ガス原因説を否定
7. 氷床コアの調査; 気温変動が先行、CO<sub>2</sub>

が後追い

8. なぜ気温上昇すると CO<sub>2</sub> 増えるか

9. 太陽黒点の観察と天気予報

10. 太陽活動と気温が密接に相関してい

る

11. 太陽活動の影響の仕方

12. 北極の気温変化は太陽活動とは一致、

CO<sub>2</sub> とは不一致

13. どのようにして人為的温暖化説が広

まったか

14. 政治化はマーガレット・サッチャーか

ら始まった

15. 環境保護主義者との合流

16. 政府助成金の爆発的な増大

17. コンピュータによる気候予測
18. メディアが恐怖を増大
19. 氷の融解の報道
20. 海の変化の報道
21. マラリアの北上の話
22. IPCC 報告書の信頼性—論文検閲・削除  
のウォールストリート・ジャーナル上の  
告発
23. 国連の地球温暖化会議とこれを取巻  
く推進勢力
31. 活動グループからの勧誘や排斥
24. 環境保護運動の躍進と弊害
25. 予防原則というまやかし
26. アフリカの発展に必要な電気が導入

できない

27. 太陽・風力発電は高価で、工業化に役

立たない

28. 環境保護活動はアフリカンドリーム

を葬った

エピローグ

---

分割の後半部分（2/2）

(どのようにして広まったか

～エピローグまで)

---

過去数百年以上にわたり、海水温度および気温との間で 10 年ベースで大変良い相関があります。」

多くの科学者にとって、次の結論は避けられません。



「太陽が気候変化をもたらしているのです。CO<sub>2</sub>は無関係です。」

### 13. どのようにして人為的温暖化説が広まったか

しかしながら、もしその通りだとしたら、

私たちは、なぜ毎日毎日人為的地球温暖化の記事で攻め立てられているのでしょうか？

なぜ、これほど多くの報道関係者やその他の人々が、それが明白な事実だとみなしているのでしょうか？

地球温暖化説の威力を理解してもらうためには、それがいかにして起きてきたかについてお話ししなければなりません。

気候に関する破滅的な予測は新しいことではありません。1974年にBBCは凶暴な嵐や旱魃は大異変の迫っている証しかもしれないという警告を放送しました。



そして、この気候災害の原因はなんだと考  
えられたのでしょうか？

ニューサイエンティスト誌の元編集長ナイ  
ジェル・コールダーはこのとき番組の裏方に  
いました。



「ウェザーマシンの番組で、私たちは  
当時の主流の意見、即ち地球寒冷化と  
新氷河期の脅威を報道していました。」

「大自然の氷は人  
間を矮小化しそ  
して・・・」



「気温が数十年下がり続けれ

ば、寒冷化した世界は破滅的な結末を迎えるだろうと専門家は警告しています・・・」

かつては大凍結の脅しがありました。また新たな氷河期が、我々の土地を奪い、北方の都市を埋没するのでしょうか？

しかし、この呪われた運命の陰に一つの希望の声が出てきました。スウェーデンの科学者バート・ボーリンが、人為的二酸化炭素が世界を温めるのに役立つかかもしれないという試みの提案をしました。

彼自身も自信なかったのですが。



「たくさんの石油と膨大な石炭が残っています。しかし、これまでのような増大し続ける速度で燃やし続ければ、50年もすれば気候は今より数度暖かくなるかもしれません、よく分かりません」



「私たちが、最初にスウェーデンのバート・ボーリンを二酸化炭素の危険性についての国際的なテレビ討論会に出席させました。

私は、専門家のトップから彼を空想の世界にふけらせすぎたと厳しく批判され

たことを覚えております。」

1970 年代の寒冷化の恐怖が頂点にあったころ、バート・ボーリンの一風変わった人為的地球温暖化説は馬鹿げたものに見えました。しかし、二つのことがこれを変えました。

第一は、気温が上がりだしたことです。

第二は、英國で炭鉱ストライキが起きたことです。

## 14. 政治化はマーガレット・サッチャヤーから始まった

マーガレット・サッチャー首相（在任 1979 – 1990 年）にとっては、エネルギーは政治問題でした。1970 年代の初めは石油危機で世界は不況に陥りました。

英国では荒れ狂う炭鉱ストライキが停電を引き



起こし、保守政権の転落をもたらしました。

サッチャーは、彼女のところではこれと同じことが起きないようにしようと決心しました。



「この国に見られるのは組織化された革命的少数派の出現です。彼らの真の狙いは法や秩序を破り、民主的議会政府を破壊することなのです。」



「この課題は、マーガレット・サッチャーにより政治化されました。」



Lord Lawson of Blaby  
Chancellor of the Exchequer 1983-1989

「私がエネルギー省の大臣の時ですが、マーガレット・サッチャーは常に原子力発電を推進しようとしていたことをよく覚えております。

気候変動問題が現れるずっと前から、彼女はエネルギー保障を心配しております

した。彼女は中東を信用しておりませんでしたし、また英國の炭鉱労働者組合も信用しておりませんでした。石油も信用できず、石炭も信用できないことから、彼女は、実際に原子力発電で進まざるを得ないと感じていたのです。そして、気候変動、地球温暖化ということが出てきたとき、彼女はこれは大変好都合だと感じました。

二酸化炭素を排出しないことも一つの論拠になりますし、またなぜ原子力を求めなければならぬかの論拠にもなると思つたのです。これは、彼女が実際に大いに話していたことです。

それ以来、誤って伝えられているのです。」



「そして、マーガレット・サッチャーは、王立協会（royal society）に行つて科学者たちに、“お金は用意できているからこの話を証明してください”と云いました。もちろん科学者たちはすぐに出かけて実行しました。」



「政治家が何かに肩入れしたり、名前を出したりすれば、もちろん何らかの形でお金が流れることになるのは必然で、その通りになっています。そして、

必然的に研究、開発、あるいは協会設立の乱立がはじまりました。

二酸化炭素と温度の関係を強調して気候調査を行うとさえ云うことができればよいのです。」

1988 年にミセス・サッチャーの要請で、英國気象庁は気候モデリング・ユニットを設立しました。これが新しい国際委員会、即ち “ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC/the Inter-Governmental Panel on Climate Change )” の基礎になりました。



「彼らは、地球温暖化による気象災

害を予告する最初の分厚い報告書を出しました。私は、科学記者会見に行って驚いたことが二つあります。

第一はメッセージの単純さ、雄弁さ、および話の元気さです。

第二は、つい数か月前まで王立協会の主要な会議の議題であった太陽の役割も含めて、これまでの気候科学を完全に無視していることです。」

## 15. 環境保護主義者との合流

しかしながら、環境問題として、人為的二

酸化炭素を新たに強調することが気に入ったのは、ミセス・サッチャーだけではありませんでした。



「それは確かに、  
私が中世の環境主義と  
呼んでいる環境の考え方



方にとては大変好ましいものでした。  
車も機械もすべて捨てて中世の時代様式  
に戻ろうというものです。

ええ、彼らはそれが気に入りました。  
なぜなら、二酸化炭素は工業化の象徴だからです。」



「二酸化炭素は工業ガスであり、た

ぶん、ええ、経済成長と結びついており、ええ、輸送機関や自動車とも、そしていわゆる文明と呼ばれるものと結びついています。

そして、環境運動には、経済成長を単純に悪だと考えて反対している勢力が存在します。」

パトリック・ムーアは、彼の時代のトップの環境運動家の一人とみなされています。彼はグリーンピースの共同設立者です。



「焦点が気候に移ったのには明らかに二つの理由がありました。

第一は、80年代半ばまでは、合理的な

ものすべてが大多数の人々が賛成したので、環境運動では我々は皆でやらねばならないと叫んでいました。しかし、大多数の人々が賛同している今では、対決的姿勢を保ちつづけることはとても難しいのです。ですから、反体制的であり続けるにはかつてないほどの極端な姿勢を取らなければならなかつたのです。

私がグリーンピースを離れるとき、丁度、塩素を世界的に禁止しようというキャンペーンの最中でした。私は、ねえ君たちこれは（化学の）周期律表に載っている元素の一つなのだよ。これをまるまる禁止する裁定を下す権利など我々には

ありはしないでしょうというようなことを云いました。

第二の理由は、環境過激主義が現れたことです。この因は、共産主義が崩壊し、ベルリンの壁が崩れ、多くの反戦運動屋や政治活動家が環境運動に入ってきたことです。新マルクス主義を持ち込み、さらに自然環境や科学よりも反資本主義あるいは反グローバリゼイションに近い行動計画（アジェンダ）を、環境用語で巧みに覆い隠すことを覚えました。」





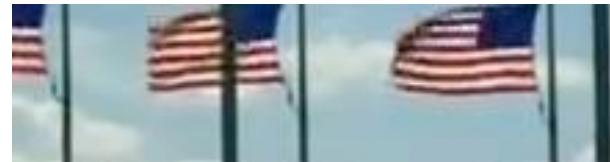
「左翼は社会主義マニフェストの失敗から少し方向を失っていましたし、共産主義もよく見るにしたがってこれに輪をかけた状態だと分かりました。ですから、彼らは昔からの反資本家のままでしたので、反資本主義を隠すための新しい装いを見つけなければならぬのです。」



「そして、これは右翼のマーガレット・サッチャーから極左の反資本家環境運動家までの驚くべき同盟でした。これが狂気の考えに基づく運動勢力になりました。」

# 16. 政府助成金の爆発的な増大

1990 年代の初めまでには、もはや人為的地球温暖化は気候理論の中で  
の風変りなものではありま  
せんでした。これは満開の政治キャンペーン  
になりメディアの注目を集めました。



この結果一層の政府資金が集まりました。



「ジョージ・ブッシュ大統領（シニ  
ア、任期 1989－93 年）以前は、気候ある  
いは気候関連科学の資金は 1 億 7000 万ド  
ルぐらいだったと思います。この分野と  
しては妥当な範囲でした。

それが、年間 20 億ドルにも跳ね上がったのです。10 倍以上です。

そして、はい、いっぱい変わりました。仕事が沢山増えたということです。こんなことがなかつたら関係のなかつた沢山の新しい人たちを、お金で買ったのです。

こうして、地球温暖化の分野にしか興味のない人々の中核グループが出来たのです。」



「もし、私が調査研究をしようとするば、サセックスのリスの話ですが、1990 年以降であればどうするかといえば、私は許可申請書にこう書きます。“私は、

リスの木の実の採集行動の調査を、地球温暖化の影響に特別に注目して行います。”これでお金が得られます。でも、もし地球温暖化を書き忘れたらお金は貰えないでしょう。」



「私たちは資金の獲得を競っています。もし、あなたの分野が注目の的であるなら、なぜあなたの分野への資金の投入が必要なのかを、合理的に説明する仕事はとても簡単です。」

# 17. コンピュータによる気候予測

これらの資金の大部分は、気候が将来何をもたらすかを予測するためのコンピュータ・モデルの作成に使われます。

しかし、これらのモデルはどれほど正確なのでしょうか？

ロイ・スペンサー博士は NASA のマーシャル宇宙飛行センターの気候研究の上級科学者です。NASA および米国気象学会の両方から特別科学成果賞のメダルを授与されました。



「気候モデルの信頼性は、用いられ

ている仮定と同じぐらいしかありません。何百もの仮定が使われています。このうち一つでも間違うと予測は全く見当違いになります。」

全てのモデルが、気候変動の主原因は人為的 CO<sub>2</sub>であり、太陽や雲ではないと仮定しています。



「私のよくする類推は、自動車がうまく走らなくなつたとき、エンジン—これは太陽に相当します—を無視して、また変速機—これは水蒸気に相当します—をも無視して、右後輪の一つのナット—

これが人為の CO<sub>2</sub>です一を調べるような  
ものだと云うものです。

この科学はこれほどひどいものなので  
す。」



「もしもあなたが気候システムの理解  
ができていなかつたり、すべての構  
成要素、即ち宇宙線、太陽、CO<sub>2</sub>、水蒸気、  
雲、そしてこれらの集合体の理解ができ  
ていなかつたり、もし一つでも欠けてい  
たら、あなたのモデルは何の価値もあ  
りません。」

気候予測の幅は大きく変動します。これら

の変動は、モデルのベースになっている仮定をほんの少し変えるだけで生じます。



「私はモデル製作者と一緒に働いていますし、私もモデルを作りますが、数理モデルでは、パラメーターを少しひねるだけでどんなモデルでも作れます。より暖かくすることも、あるいはより寒くすることも、変更すれば出来るのです。」

## 18. メディアが恐怖を増大

訓練されていない目には、コンピュータ

ー・モデルは印象的に見えます。しばしば、とっぴな気候の推測を出したり、厳格な科学の顔も見せます。

また、コンピューター・モデルはメディアに対して壮大なストーリーを途切れることなく流し続けます。



「長いジャーナリスト生活の中で私を驚かせたことは、最も初步的なジャーナリズムの原則が、この主題に関しては放棄されてしまっていることです。」



「全く新しい世代の記者や環境ジャー

ナリストになったのです。

ところで、もしあなたが環境ジャーナリストであって、もし地球温暖化の物語が消えてしまったら、あなたも職を失います。」

「そして、報道はますますヒステリックにならざるを得なくなります。なぜなら、幸いなことにまだ経験豊富なニュース編集者が少しあり、彼らは、“ねえ君たちこれは 5 年前に云っていたことだよ、でもね、今はもっともっと悪くなっている、来週の火曜日までには 3 メートルも海面が上昇するのでしょうか”と云ったりするからです。彼ら

はますますかん高く先鋭的になるのです。」

今では、あらゆる暴風  
や台風をすべて地球温  
暖化のせいにするのが  
当たり前になっています。



でも科学的根拠があるのでしょうか？



「これは純粹にプロパガンダです。どんな気象学の教科書にも、天候の乱れの主な源は熱帯と極地の間の温度差によると書かれています。そして、世界が暖

かくなるとこの差が小さくなると云われています。

そうすると、これは嵐がより穏やかに、気温変動がより小さくなることになり、どうしたわけか破滅的とは考えられないのです。

ですからあなたは反対のことを聞かされているのです。」

## 19. 氷の融解の報道

しばしば、地球の気温の穏やかな上昇であっても、極地の氷原の破滅的な融解を起こす

かもしだいと云われています。

しかし、地球の気候の歴史は何を我々に教えてくれるのでしょうか？



「私たちは、グリーンランドの数千年前の気温の記録を持っています。グリーンランドはとても温暖でした。丁度千年前のグリーンランドは現在よりも暖かでしたが、劇的な氷の融解の事件は起きました。」



「たとえ永久凍土層なんかについて語るとしても、例えばロシアの森の地下に存在する氷の層、広大な永久凍土層

が7-8千年前には、現在の融解の証拠をずっと上回って進んでいました。

ですから、換言すればこれは歴史パターンの繰り返しであり、氷を踏み鳴らす音が世界から消えるということにはなりません。」

赤祖父俊一教授は、アラスカの国際北極圏研究センター（International Arctic Research Centre/IARC）の所長です。IARCは世界をリードする北極圏研究所です。

赤祖父教授は、氷原は時代を越えて常に自然の膨張と収縮を繰り返していると主張しています。



「南極大陸  
から大きな  
氷塊が割れて離

脱していくことが時々報道されますが、  
これは常に起きていることなのです。

しかしながら、今では衛星があるため  
に発見できるので、これがニュースにな  
る理由なのです。」

「私は、どのテレビ番組でも、地球温暖  
化に関連して氷河の端から大きな氷塊  
が落下するのを映しているのを見ます。

しかし、人々は氷が常に動いているこ  
とを忘れていました。」



この NASA の衛星のデータは、1990 年代に起きた極地の海水の大規模な自然の膨張と収縮を示しています。



ニュース報道は、北極の端から氷が破断していくさまをしょっちゅう映しています。でも、これは秋の落葉と同じで、北極では普通に起きている出来事だということは報道しません。



「彼らは、“氷河の端から氷が落ちるのを見ましたか”と私に尋ねます。“は

い、それは春の到来です。毎年起きています”と答えます。

記者達は来ればいつも、“ところで、温室効果による災害について知りたいのですが何かありませんか”と尋ねます。私は“何もありません”と答えます。」

## 20. 海の変化の報道

世界各地の海水面  
の変動を気候のせい



にすることも今は当たり前になっています。

でも、これはどれほど科学的なのでしょうか？



「一般に、世界中で起こる海面の変化は基本的には二つの因子で決まります。ローカル因子と呼ばれるものは海と陸の関係ですが、これはしばしば海よりも陸の隆起と関連しています。」

「ユースタティック変化と呼ばれる海面変化は、海洋の熱膨で起こる世界的な変動ですが、これは氷の融解とは無関係です。非常に長時間かかるて生じるので、例えばこれを調べ始めても一生かかるっても出来ません。」

# 21. マラリアの北上の話

気温の穏やかな上昇においてさえ、マラリアのような危険な害虫で媒介される熱帯病を、北の方にまで蔓延させるとも云われています。でも、本当でしょうか？

パリのパスツール研究所のポール・ライター教授はマラリアやその他の昆虫媒介の病気の世界の第一人者の人です。世界保健機関WHOの専門家諮問委員会のメンバーです。米国熱帯医学会の衛生昆虫学委員会の議長でしたし、米国の気候変動の影響評価のヘルス・セクションの主執筆者でした。



「蚊は熱帯だけのものではありません。たいていの人は温和なところには蚊がいることは知っているでしょう。でも実際は、蚊は北極にも沢山います。最もひどいマラリアの流行は1920年にソ連で起こりました。年間1300万人が罹り、60万人ほどの死者をだしました。この恐るべき災難は北極圏にまで達しました。アークエンジェル村では3万人が罹り、1万人が死亡しました。ですから、これは熱帯病ではないのです。それにもかかわらず、地球温暖化クラブの人々は、マラリアが北上していく

というアイデアを作り出したのです。」

## 22. IPCC 報告書の信頼性—論文検 閲・削除のウォールストリート・ ジャーナル上の告発

地球温暖化の政府間パネル IPCC の公式レポートには、しばしばとても激しく警鐘を鳴らしているものがあります。

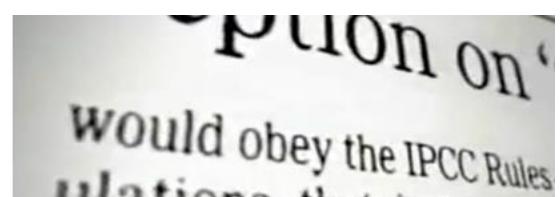
でも、どのぐらい信頼できるのでしょうか？



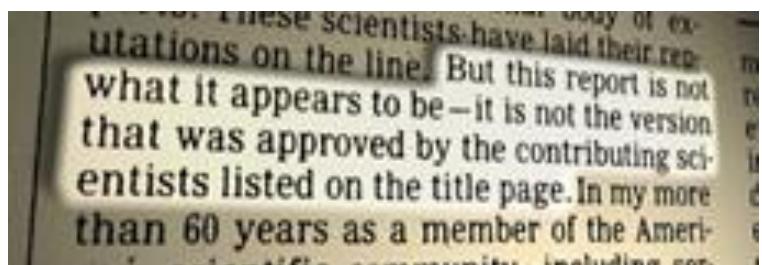
「私は第二次と第三次の IPCC の評価

報告書を見てぞつとしました。なぜなら、沢山の間違いがあって、しかもそれ確かめるつてがないのです。あるいはまた、科学文献、まっとうな科学文献、それぞれの分野の専門家の文献が付いていないのです。」

米国科学アカデミーの元会長のフレデリック・サイツ教授は、ウォールストリート・ジャーナル紙への手紙で、IPCC の職員が科学者のコメントを削除・修正していたことを暴露しました。



彼は、この報告書は投稿した著者らによ  
つて是認されたバ  
ジョンではないと云

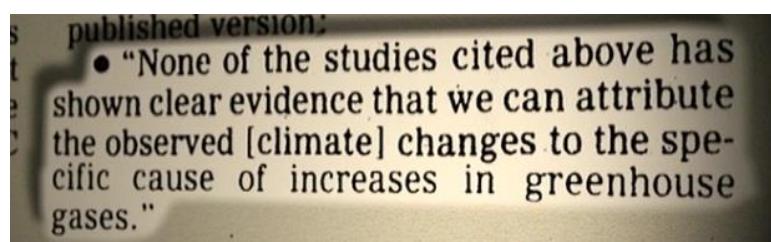


いました。科学の章で、

少なくとも主要な項が 15 か所で削除されて  
しまいました。

これらの削除された箇所には次のような記  
述が含まれています。

“引用した研究論  
文には、気候変動



を温暖化ガスのせいにする明確な証拠は  
全く見られなかった。”

“今までの研究では、観察された

• “No study to date has positively attributed all or part [of the climate change observed to date] to anthropogenic [man-made] causes.”  
• “Any claims of positive detection of

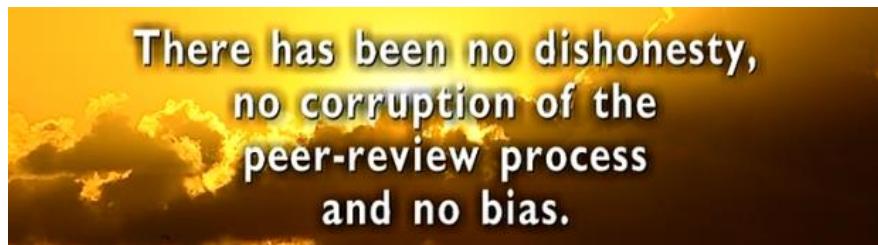
気候変動の一部または全部を明確に人為的原因に帰することは出来なかった。”

サイツ教授は、  
「ピア・レビューと  
いう専門家同士間  
の評価制度で、この

As president of both the National Academy of Sciences and the American Physical Society, I have never witnessed a more disturbing corruption of the peer-review process than the events that led to this IPCC report.  
A comparison between the report approved by the contributing scientists and

IPCC の報告書につながる事件以上に人騒がせな改悪は見たことがありません。」と結論しています。

これに答えて、IPCC は削除したことを否定しませんでした。しかし、報告書の不正や歪曲はなかったし、地球温暖化の原因の不確定性はそのまま残っていると云っています。この修正は、政府、科学者個人、および非政府組織 NGO からのコメントに基づき行われたそうです。



(ピア・レビュー評価プロセスに不正  
・腐敗や変更はなかった)



(不確定性は残されている)



(修正は政府、科学者個人、および  
非政府組織 NGO のコメントによる)



「私が IPCC を辞職したとき、これ  
ですべてけりがついたと思いました。  
しかし、最終原稿を見たら私の名前がま  
だ残っていました。  
だから、私は名前を削除してくれるよ  
うに頼みました。ええ、彼らは、“私が寄  
与したのだからそのままにしています”

と云いました。そこで、“私の云い分は全く聞き入れられなかつたので、私は何も貢献しませんでした”と云いました。そして、ついにはほとんど口論になりました。最終的には、私が法的手段に訴えると脅したら、やっと私の名前を取り下げてくれました。これはよくあることだと思いました。

専門家の中には論争に同意できなくて辞めた人が大勢いることを知っていますが、彼らは著者リストにただ載せられたままで、世界のトップ科学者 2500 人の中に入っています。」

# 23. 国連の地球温暖化会議とこれを取巻く推進勢力

人為的地球温暖化の背後には強力な制度化した推進勢力が存在します。

ここナイロビでは、専任の役人、プロの NGO 活動家、カーボン・オフセット（排出された CO<sub>2</sub>を森林吸収等で相殺する考え方）資金団体、環境ジャーナリスト等が集まって、気候変動について討議をするために 10 日間の国連主催の会議が開



かれています。参加代表者の数は 6000 人を超えます。



「私の住んでいるところには、地方議会の地球温暖化担当職員がおり、ここには時代の流れに乗り遅れないように、何らかの形で参加しようと集まった人々のとても長い行列ができています。」



「数 10 億ドルも気候科学に投資されれば、このドルに依存する人の層も巨大になります。そして、いかに官僚的であろうとも、さらに発展させることを望むでしょう。」



Lord Lawson of Blaby

「立ち上がって、“待てよ、これは冷静に、合理的に、かつ注意深く見直してみよう。どれほどのメリットがあるって、どれほど続くだろうか”などという人は誰であれ排除されます。」



Professor Tim Ball  
Dept of Climatology  
University of Winnipeg

「古い英國のことわざに、“もしあなたがココヤシの実落としの中に立てば、あなたに向かって石が飛んでくる”というのがあります。

私は同じようになると思っていますが、かなり難しく、かなり汚く、そしてとても個人的な中傷になっています。ええ、

殺すという脅迫でも何でもあります。だから、自分の身体のためを思ってそんなことはやりません。」

## 24. 環境保護運動の躍進と弊害



「今日では、もし気候変動を取巻く“連禱の祈り”に疑いを持ったりしたら、あなたはたちまちホロコースト否定論者にされてしまいます。」



「私は、この地球温暖化ビジネス全部が宗教のようなものになっていると

云いだした最初あるいは最後の人間ということは絶対ありません。でも、反対の人たちがそう呼ばれるなら、私は異端者です。この番組の制作者は全員異端者です。」



「環境運動は、実際はこの運動の政治的な行為であり、世界的なレベルで莫大な影響を及ぼしています。そして、今日では、政治家は誰でもそれを知っています。左派であろうとも、中道であろうとも、右派であろうとも、環境に対しては敬意を払わなければなりません。



せん。」

地球温暖化キャンペーンは大勝利を収めました。かつてはレジスタンスの砦であった合衆国政府も降伏しました。ジョージ・ブッシュは今や彼らの同盟者です。

西欧の政府は、今では、先進国および開発途上国のいずれにおいても工業生産を制限する国際協定が必要だということを受け入れました。

でも、費用はどれほどになるのでしょうか？

ポール・ドリーセンは元環境運動家です。



「地球温暖化についての私の最大の  
関心事は、おそらく地球温暖を防止  
するだろうと推し進められている政策が、  
世界の最貧困層の人々に壊滅的な影響を  
与えていることです。」（ポール・ドリー  
セン 作家）

## 25. 予防原則というまやかし

地球温暖化の運動家は、安全側に立つこと  
は何の害ももたらさないと云います。仮に人  
為的気候変動説が誤りであったとしても、万  
一のことを考えて炭素放出を制限する厳格な

基準を課すべきだと。

人々はこれを予防原則（precautionary principle）と呼んでいます。



「この予防原則はとても変わった野獸です。

人々は特定の協議事項やイデオロギーの推進のために使われていたのですが、今では常に一方向にだけガンガン鳴り響かせるために使われています。

それは、特定の科学技術を用いたとき、例えば化石燃料を使ったときのリスクについては語りますが、これを使わないことで生じるリスクは決して語りませんし、

その技術のもたらす恩恵についてもまったく触れません。」

## 26. アフリカの発展に必要な電気が導入できない

アン・ムゲルは子供の食事を準備しています。



彼女のように電気のない生活をしている人は世界の人口の三分の一の 20 億人にものぼります。この人たちとは、代わりに木や動物の糞を家の中で燃やします。屋内で発生した煙は世の中で最悪の汚染をもたらします。また、

アンのような人は浄水が使えません。この結果、貧困国では毎年約 400 万の 5 才以下の子供が、呼吸器疾患や下痢で死亡しています。



「もし、現地の人に発展とは何かと尋ねたら、彼らは、“電気が来れば次のステップに上れることが分かっています”と答えるでしょう。

実際に、電気がないということはトラブルの長い連鎖を生み出します。困ることの第一は明かりで、早く寝なければなりません。明かりがないのですから、起きている理由もありません。暗闇の中でお互いに話をするわけにもいかないとい

うことです。」（ジェームス・シックワ  
ティ エコノミスト 作家）

冷蔵庫も近代的な包装もないということは、食品は保存できないことを意味します。小屋の中の火はとてもひどい煙を出しますし、暖房のための木の消費量は多くなりすぎます。お湯もありません。私たち西洋人にとっては、電気のない生活がどれほどひどいか想像もできません。

こんな生活をしている人々の寿命は恐ろしく短いのです。彼らの生活はあらゆる面で貧困化しているのです。

ここから数マイル先  
の豪華なゲートで囲ま  
れた本部では、国連が地  
球温暖化の会議を開催しています。



土産物店が田舎の部族集落の土産を売って  
いる傍らで、代表団らは  
持続的な発電方式とい  
えるものを推進するにはどうしたらよいかと  
論議しています。



アフリカには石炭があります。また、石油  
もあります。

しかしながら、環境団体はこれらの低コス

トのエネルギーを使うことに反対運動をしています。その代りに、アフリカや第三世界のその他の人たちは太陽光発電と風力発電を用いるべきだと云っています。



## 27. 太陽・風力発電は高価で、工業化に役立たない

ナイロビから車で少



し行ったところに最初の太陽電池パネルが見つかります。ケニアの保健局が、数か村の住

人を診るために診療所用にと買ってくれたものです。



診療所の電気器具

は電灯と冷蔵庫だけです。冷蔵庫はワクチン、薬それに血液が保管されています。

電気は二つの太陽電池パネルで供給されます。



職員 “で、うまくいっているのは何ですか？”

医者 “照明です”

職員 “照明だけですか？”

医者 “そうです”

職員 “もし照明と冷蔵庫などを一緒につけたら何が起きますか？”



医者 “警報が鳴ります”

職員 “警報が鳴るのですか？”

職員 “やって見せてくれますか？”

太陽電池パネルは、サミュエル・マワンギ医師に電灯か、冷蔵庫かいいずれか一つずつの使用しか許しません。同時には使えません。同時に使うと電気は切れてしまします。

風力発電と太陽光発電は電力の供給源とし

てはとても安定性が欠けております。また、コストは従来の発電方式よりも少なくとも3倍はします。



「問題は、ヨーロッパで何人の人が、米国で何人の人が、この種のエネルギーをすでに使用しているか、また、どれほど安価かということにならざるをえません。

いいですか、ヨーロッパ人にとっても高価であり、アメリカ人にとっても高価であるなら、ましてや貧困のアフリカ人についての話をしているのですから、ナンセンスだということはお分りでしょ

う。」

「金持ちの国なら、違った方式の高価な実験をすることも出来るでしょう。でも、私達にとっては、私たちはまだ生き延びるのに精いっぱいの段階なのです。」

元環境運動家のポール・ドリーズンにとつては、世界で最も貧しい人々に対して世界で最も高コストで非効率な発電方式しか使わせないという考えは、地球温暖化運動の最も道徳的反感を呼ぶ面です。



「一つ完全に明らかにしておきたいことは、もしも第三世界の人に風力発電

と太陽光発電しか使ってはいけないと告げることは、実際には彼らに電気を持つてはいけないと云っていることと同じことなのです。」



「西欧の環境運動家と会うと、彼らは、私たちは太陽電池や風力エネルギーに取り組まねばならないと云いますが、私たちが挑戦している課題はどのようにしてアフリカを工業化させられるかなのです。

なぜなら、私には太陽電池でどうやって鉄鋼業に電力を供給できるのか分からぬし、鉄道輸送網に電力を供給できるか分からぬからです。多分、小さなト

ランジスター・ラジオは動くでしょうけど。」

## 28. 環境保護活動はアフリカンドリームを葬った



「全ての環境の討論から分かった一つの明瞭なことは、アフリカンドリームを葬るのに熱心な人がいるということです。

アフリカンドリームは発展することです。」



「環境運動は最強の勢力に発展し、先

進国の開発を阻止するまでになつて  
います。」



「私達は、  
資源に手を付けるな、  
石油に手を付けるな、  
石炭に手を付けるな  
と云われています。これでは自殺です。」



「私は、彼らを反人間的と呼んでも正  
当であると思っています。人間が鯨よ  
り優れている、あるいは鳥やあらゆるも  
のより優れている、と考えたくなければ  
勝手にそうちらよいでしょう。」

でも、人間を屑のようなものと考えたり、数十億の人を盲目にしたりあるいは死なせたりすることは絶対に感心できません。私はそれには共感できません。」

## エピローグ

人為的地球温暖化説は今ではあまりに堅固になり、反対の声は効果的に沈黙させられています。

それは無敵に見え、いかにも強固な反証に会っても亂れません。

地球温暖化の警鐘は、今や理性を越えてしまいました。



「例えば、“今世紀末までには、地球上で人間の住めるところは南極だけになるでしょう”と報じるような主席科学官が英國にいる限りは、“これでこの世はもう終わりだ”と信じる人はまだ存在するでしょう。

そして、人類は、南極に移住した繁殖カップルのおかげで生き長らえることが出来るかもしれません。

それは陽気で楽しいと思います。もしそれほど寂しくなければ本当に楽しいでしょう。」

With Thanks to  
**PROF TIM PATTERSON**  
**PROF EDWARD J. WEGMAN**  
**PROF BOB CARTER**  
**DR WILLIE SOON**  
**DR MADHAV KHANDEKAR**  
**PROF WIBJÖRN KARLEN**  
**DR HENRIK SVENSMARK**  
**DR DICK MORGAN**  
**DR FRED GOLDBERG**  
**HANS H.J. LABOHM**  
**STEVE MCINTYRE**  
**DR ROSS MCKITTRICK**  
**DR CHRIS LANDSEA**



Graphics  
**BEN MASON**  
  
Animation  
**THE MINISTRY OF TOONS**  
  
Production Assistant  
**ARREN STROMBOLI**

Online Editors  
**HAYDN GEE**  
**MICHELLE BENCH**

Dubbing Mixer  
**STEVE CROOK**

Edit Assistants  
**ROBIN BAILEY**  
**NICK RAYMENT**

Additional Editors  
**GILES LLEWELLYN-THOMAS**  
**SUZI BRAND**

Post Production Supervisor  
**SANDRA THERON**

Researchers  
**PATRICK SMITH**   
**JO LOCKE**

Production Managers  
**ZOE GLOVER**  
**KELLY HOOD**

Head of Production  
**STEVEN GREEN**

Assistant Producer  
**SEB CURTIS**

Editor  
**ALEX FRY**

Producer  
**ELIYA ARMAN**

Written & Directed by  
**MARTIN DURKIN**



A Wag TV Production  
for  
Channel 4

© Wag TV MMVII